

令和6年度 第2回 城北小学校運営協議会



令和6年6月6日（木）

14：30～16：00

浜松市立城北小学校

第 2 回 城北小学校運営協議会

令和 6 年 6 月 6 日
14 : 30 ~ 16 : 00
会議室

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認 <司会：教頭 記録：中村>

- 1 会長挨拶（岩井会長）
- 2 校長挨拶（校長）
- 3 議長の選出（出席した委員の中から互選）
- 4 前回会議録確認・・・資料 1
- 5 熟議 <議長>
 - （1）「やさしさ」を形にするために・・・資料 2
 - ・ 特別活動等における実践について
 - （2）学校評価の評価項目について・・・資料 3

6 報告 <司会：教頭 記録：中村>

- （1）学校支援 CD から
 - ① 5 月の城北小サポーター活動実施報告
 - ② 城北小サポーター顔合わせ・説明会報告
 - ③ 「コミュスク便り（5 月号）」「城北小サポーター Q & A（6 月）」発行について

7 連絡

- （1）次回

令和 6 年 10 月 24 日（木）13 : 15 ~ 14 : 00 授業参観
14 : 00 ~ 15 : 30 学校運営協議会
- （2）次回の熟議内容の確認
 - ① 「やさしさ」を形にするために
 - ・ 城北小学校いじめ防止基本方針について
 - ② 学校がかかえる課題と改善案

報告

- ・ 6 月以降の実践について

閉会

学校運営協議会委員

会長	いわいく み こ 岩井弘美子
副会長	かわしま まさゆき 川嶋 正幸
委員	なかがわ かつお 中川 勝夫
委員	たかやなぎ みちこ 高柳 理子
委員	なかがわ ともひろ 中川 智博
委員	しみず ひろと がっこうえん 清水 裕人 (学校支援CD)
委員	かみうえ り え がっこうえん 紙上 理恵 (学校支援CD)
委員	もり さとこ 森 聖子
委員	たかだ 高田 あゆみ

オブザーバー

静岡大学	おおの きりゅうたろう 大野木龍太郎
はままつ青少年の家	いのした しゅんすけ 井下 俊輔
高台協働センター	かわにし ひろあき 河西 博昭
高台協働センター	すずき こうすけ 鈴木 皓介

学校

校長	つちや けんじ 土屋 憲司
教頭	こじま すみか 小嶋 澄華
教務主任	おおた もとこ 太田 礎子
C S ディレクター	なかむら あさみ 中村 朝実

浜松市教育委員会

教育総務課	すずき ようこ 鈴木 陽子
-------	------------------

学校運営協議会 年間計画

令和6年4月1日～令和7年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和6年 4月25日 木曜日 14:30～16:00 会議室	(1) 学校運営の基本方針について ・「やさしさ」を形にするために (2) 夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について (3) いじめ防止等のための基本的な方針 報告 (1) サポーターとつくる特色ある学校づくり年間計画 (2) 学校コーディネーターから ・4月の城北小サポーター活動計画	
2	6月6日 木曜日 14:30～16:00 会議室	(1) 「やさしさ」を形にするために ・特別活動における実践について (2) 学校評価の評価項目について 報告 (1) 4・5月の実践について	
3	10月24日 木曜日 14:00～15:30 会議室 授業参観 13:15～14:00	(1) 「やさしさ」を形にするために ・城北小学校いじめ防止基本方針について (2) 学校がかかえる課題と改善案 報告 (1) 6月以降の実践について	学校運営協議会自己評価 実施について
4	令和6年 2月6日 木曜日 14:30～16:00 会議室	(1) 学校関係者評価 ① 本年度の教育活動の説明 ② 学校評価を元にした改善案についての説明 ③ 改善案についての熟議 (2) 来年度の学校経営の基本方針説明 (3) 来年度のCS活動の計画案※CS活動の説明 (4) 学校運営協議会の自己評価 報告 (1) 夢育やらまいかCS加算分報告	学校運営協議会自己評価 委員の意見収集⇒学校への 提出締切: R7. 2月末日

令和6年度 第1回 城北小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年4月25日（木） 14時30分から16時30分まで
- 2 開催場所 城北小学校 会議室
- 3 出席委員 岩井弘美子、川嶋 正幸、中川 勝夫、高柳 理子
中川 智博、清水 裕人、紙上 理恵、森 聖子、高田あゆみ
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 大野木 龍太郎（静岡大学） 井下 俊輔（青少年の家）
河西 博昭（高台協働センター） 鈴木 皓介（高台協働センター）
- 6 学 校 土屋 憲司（校長）、小嶋 澄華（教頭）、藤井 智之（生徒指導）
中村 朝実（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中村 朝実
- 9 議長の選出
司会から、議長の選出について意見を求めたところ、川嶋委員より岩井会長を推薦する旨の発言があり、全員異議無くこれを承認した。
- 10 協議事項
 - （1）学校運営の基本方針について
「やさしさ」を形にするために
 - （2）夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書について
 - （3）いじめ防止等のための基本的な方針
- 11 会議記録
司会の小嶋教頭から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
 - （1）学校運営の基本方針について
 - ・「やさしさ」を形にするために
校長より学校運営の基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。
・これからの城北小が楽しみだと思った。1人1人の気持ちを大切にしていこうというのが、感じられた。今まで子供や保護者から上がった相談はロールプレイというか、どれぐらいの頻度で話し合うのか？（森委員）
→学校は様々な校内研修がある。どう充実していくか、もっと先生達の話し合いを活性化して、学校全体で話し合う機会を作っていきたい。学年主任が集まり話す場もある。共通理解を作り、学年に下ろしていく。（校長）
・三者面談は一方通行になる。1人の先生が受け止めているのか。先生同士で共有できているのか。（森委員）
→生徒指導の会議で話し合ったり、面談も学年主任へ上がるようになっている。（校長）
・「令和の日本型学校教育」？質って何？分からない人、読めない人もたくさんいるのも知ってほしい。学校はまとまらない文章が多く分かりにくい。今の学校の先生は自分で考えて進めていくのはとても大変。発言も気にしないといけないだろうが、もっと本音でしゃべれたらいいな。（川嶋委員）
・日本の教育含め、国民に対する発信が難しすぎる。「令和の日本型学校教育」は日

本の教育を変えていかないとこの先、生き残れないよという変化の時。

- ・子供たちの5つのめあてはとても大切。これを地域に持って行って共有していくと全体がもっと盛り上がっていくと思う。(中川勝夫委員)
- ・5つのめあての「みんなの目」→「わたしの目」でも良いと思う。人間って最終的にここを鍛えないとだめだと感じた。(岩井会長)
- ・夏の居場所作りで委員の皆さんがやってくれているのが、5つのめあてを育てていると思う。
職員の平均年齢が下がったのでは？チャレンジしていくパワーや活力は若い方の方があると思うから良いと思う。(中川智博委員)
- ・これを守ろう！ではなく、これを元に考えていってどうしたいか？とつながると良い。(校長)
- ・合言葉は浸透している。教員も一緒になって、子供たちとお互いの理解になる。決めるのではなく「どうかな？」とよりどころにしたい。(教頭)
- ・学校教育目標をどう作るか。言葉が難しいのは、目指す学校像を一緒に造っていく段階で、校長が1人で作るのではなく、子供に聞きながら子供と作っていく。1人1人意見を持っている人間として認めて、地域の人とみんなで作っていくんだよとなれば、難しい言葉が並んでいて分からないは無くなると思う。(大野木さん)
- ・めあての「目、口、耳、手足、心」障がいのある方から見たらどうなのか。(河西さん)
- ・夏休み中も少しでも学校に関わってくれたら、1ヶ月学校が休みでも新学期行くのが嫌な所にならないと思う。これからも居場所を作りたい。親御さんが理解してくれて一緒に来て、新学期につなげたい。(川嶋委員)

協議の結果、全員異議なく、承認された。

(2) 夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について

教頭より夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、全員異議無く承認された。

(3) いじめ防止等のための基本的な方針

校長よりいじめ防止等のための基本的な方針について説明があった。

その他報告事項等

(1) 城北小サポーターとつくる特色ある学校づくり年間計画

教頭より城北小サポーターとつくる特色ある学校づくり年間計画について説明があった。

学校支援CDよりサポーターの方達へお礼や、学校とのつながりを作りたいとの話があり、委員からは以下の発言があった。

- ・何かあげるのも良い。子供たちの感想を書いて渡す。チラシに載せてあげると自分たちがやったことを喜んでくれていると思える。(川嶋委員)
- ・学校に協力することに対しての対価性は必要になってくる。学校に呼んだり、何かあげるなど。自己肯定感は大人でもほしい。(中川智博委員)

その他連絡

次回の運営協議会は6月6日(木)14時30分～16時00分、城北小学校会議室で行う。

「やさしさ」を形にするために

○4月・5月の特別活動（学級活動・委員会活動・クラブ活動・行事）等における各学年の取組

～学級・学年・異学年・学校全体など、様々なかかわりの中で～

【ひまわり組】

実 践	・ 応援カードを書くことで、相手のよいところを見つけていた。また、カードをもらうことで、自分のよいところに気付くきっかけになっていた。 ・ 「1年生を迎える会」で、上級生として1年生が喜ぶように、カードづくりやカードの渡し方を考えた。 ・ ペア清掃…助け合い・教え合いを学んでいる。 ・ キャリアパスポートに運動会の目標を記入し、みんなで互いの頑張りを認めてほめ合う活動をした。 ⇒「城北っ子5つのめあて」の活用
子供たちの様子や振り返り	・ 1年生だけでなく、友達が困っていたら助けたいな。
成 果	○ 友達のよい所をほめるようになった。 ○ 周りの子の様子を見て、気を配るようになった。 ○ 「やってもらって当たり前」ではなく、感謝の気持ちを友達に伝えるようになった。 ○ 友達の話を聞こうとする態度が育ってきた。
課 題	・ 自分のよいところに気付くことが難しい。 ・ 親切のつもりで、やり過ぎてしまうことがある。

1 年

実 践	○運動会ダンス 友達と練習を見合って、よい所を伝えたり、アドバイスをしたりする時間を取った。「えがお」でダンスをして、見る人に喜んでもらいたいという思いを高められるよう声を掛けた。
子供たちの様子や振り返り	・たくさんの拍手をもらえてうれしかった。 ・頑張ってよかった。 ・友達に「上手だね。」と言われてうれしかった。
成 果	○目標をもち、みんなで共有することで、共に頑張ることができた。 ○頑張って練習することで、うれしい結果につながると実感した。
課 題	・頑張ろうという思いの個人差が大きい。 ・次の目標を持たせたい。 ・すぐに怒れてしまったり、相手を信じる気持ちが少ないと感じたりすることがある。人との関わり方をもっと体験させたい。

2 年

実 践	○運動会 ・練習に一生懸命取り組む⇒ダンスの振り付け・隊形、競技のルール等、理解が早かった。 ・ペア僥倖を通して、ペア学年との応援カードのやり取り。 ○学校探検 ・「1年生に楽しんでもらおう！」という気持ちから、自分たちで学校クイズ・案内の仕方・始めと終わりの会の準備を進めた。また、1年生に分かるように、校内の説明の仕方を友達と一緒に考えた。
子供たちの様子や振り返り	・運動会で自分の頑張りを振り返った。⇒自分のよさに気付くことができた。 ・5年生と一緒に頑張ることができたことがうれしかった（応援カードのやり取りも含め）。 ・1年生に喜んでもらえてうれしかった。もっと仲良くなりたいな。
成 果	○運動会の練習に一生懸命取り組むことで、「できた！」という達成感を感じることができた。 ○困っている友達がいると、声を掛けて教え合うことができる。 ○学年で仲良く過ごしている。 ○どちらの担任にも話したり関わったりすることができる。
課 題	・応援カードの取組を、学級でももう少しできるようにしたい。 ・困ったときに自分から伝える力を付けたい。 ・楽しい関わりと共に、学習規律・ルールを守ることにもできるようにしたい。

3 年

実 践	○「いっしょにやろう！！」「みんなでやろう！！」の声掛けを大切にしている。 ○運動会のダンスをよりかっこよく踊るには…？⇒ビデオを見て、子供たちと一緒に考え、その後の練習に生かした。 ○帰りの会で「いいこと見つけ」の時間を設け、友達のよい所を伝え合った。
子供たちの様子や振り返り	・運動会では、「負けたけれど楽しかった。」という声が多かった。 ・みんなで話し合った「ダンスで気を付けること」に気を付けて踊ることができた。 ・友達のよいところを見つけることが楽しい。
成 果	○投げ掛けややる気を持たせる仕掛けにより、子供たちの「やさしさ」への意識が高まっている。
課 題	・友達の話を聞くことがなかなか難しいようである。1年かけて育てていきたい。 ・自分に対する自信を持たせたい。

4 年

実 践	○運動会 「学年で心をひとつにする」をテーマに、ダンス・リレーに取り組んだ。 ○初めてのリーダー活動…ペア清掃・ペア僥倖 ⇒それを生かして、応援カードの作成
子供たちの様子や振り返り	・ペアの子と、他で何かするときの力を合わせて頑張りたい。 ・困ったときに教え合いたい。(友達同士でも) ・リレーで協力し合えたので、これからも励まし合いたい。 ・負けても笑顔で取り組むことができた。
成 果	○学級の小グループでの活動が充実してきている。 ○3年生の手本となって頑張る姿が見られた。
課 題	・日頃の過ごし方の中でのトラブル ・乱暴な言葉遣いや公共の場での過ごし方 ・グループをつくり、特定の子とばかり過ごしてしまう ・係活動の充実

5 年

実 践	学年目標「STEP UP」 ○「STEP UP」にちなんだ学級目標…クラスみんなで同じベクトルで進む ○運動会での「STEP UP」を掲げ、ダンス・リレー・ペア僥倖に取り組んだ。 ○応援カードの取組 クラスの友達・ペアの2年生
子供たちの様子や振り返り	・友達や下級生と関わる⇒進んで挨拶をする・自分の考えを相手に伝える・相手の考えを聞く ・6年生との委員会活動⇒6年生の偉大さ・6年生から見て学ぶ ・委員会活動⇒学校の一部を担っている実感・大変だけれどやりがいを感じて頑張ることができている
成 果	○「STEP UP」を中心とした教師の声掛け⇒子供たちが自分たちで意識している姿が見られる。
課 題	・友達同士で互いを呼び捨てで呼ぶ。

6 年

実 践	○運動会に向けての取組 ・ 応援 ・ 集団演技 ・ 委員会 <u>学校全体のために働く6年生</u> <u>手本となる姿を見せる</u>
子供たちの様子や振り返り	・ 下級生からほめてもらえてうれしかった。 ・ 自分たちの力が行事に生かされた（委員会の仕事）ことがうれしい。 ⇒頑張ったことを認め合うことができた。
成 果	○1年生を世話することで、6年生としての自覚が高まった。 ○大勢に見てもらったことで、自信が付いた。
課 題	・ 6年生としての立場、姿をさらに意識させたい。 ⇒「D o プロジェクト」を企画。学校全体を楽しませたいという気運が高まってきている。

(2) 学校評価の評価項目について
【R5年度 学校評価報告書より】

項目内容 「城北小の子どもたちは～」1～10, 12		「そう思う ・まあそう思う」%		
		児童	教師	保護者 地域
み と め 合 う	1 友達と仲良く過ごしている。	88.8	100	95.5
	2 明るいあいさつや返事をしている。	79.1	88	83.7
	3 相手の気持ちを考えて、やさしい言葉を使っている。	76.7	60	74.7
	4 自分の命も、友達の命も大切だと思っている。	95	84	86.2
	5 自分の良さを見つけることができる。	65.2	80	81.7
	6 友達の良さを見つけることができる。	87.4	84	84.6
き た え 合 う	7 授業中、めあてを意識して、運動や学習に取り組んでいる。	84.8	96	83.4
	8 外に出て元気に遊んだり、運動したりしている。	87.1	92	91
	9 学習カードなどを使って、運動や学習に自分からチャレンジし、最後までやり抜こうとしている。	75	80	78.6
み が き 合 う	10 自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら学習をしている。	86	88	82.3
	11 職員は、指導方法を工夫して、分かりやすい授業をしようと努めている。	86.9	96	86.5
キャ リ ア	12 キャリア教育で身につける4つの力(♡◇♠♣)を知っている。(職員は意識して授業を行っている。)	77.6	64	59
学 校	13 職員は、「いじめは決して許されない」という姿勢で子供たちの指導を行っている。	86.2	96	83.4
	14 職員は、子どもや保護者の話をよく聞こうと努めている。		96	88.2
	15 学校は、保護者、地域の人たちの協力を得て教育活動の充実に努めている。		90	90.4

* 今年度の評価に向けて

- ・「14」「15」の項目も児童に合わせた文面にして児童にも同様に聞く。
- ・「1」～「6」を「やさしさ」を形にする5つのめあてについての項目からのものにする。
例：1 友だちの良いところ、がんばっているところを見つけることができる。
2 自分の良いところ、がんばっているところを見つけることができる。
3 友だちを励ましたり（元気づけたり）、友だちに感謝（ありがとう）を伝えたりすることができる。
4 友だちや先生の話は最後まで聞くことができる。
5 困っている友だちを見かけたら、声をかけたり、助けたりすることができる。
6 相手の気持ちを考えて行動することができる。
- ・教職員の項目に自分たちの振り返り内容も追加する。子供たち同様に、自分たちもできているか振り返る。
- ・分析の視点を増やす。 →さらに次年度へ生かせるように。